

教育に関する事務の点検及び評価報告書

(平成30年度分)

令和元年8月

南部町教育委員会

【目次】

第1 点検・評価制度の概要	1
1. 事務の点検・評価の考え方	1
2. 具体的な事務の点検・評価の方法	1
3. 事務の分類と評価	1
第2 事務事業ごとの点検・評価	2
I. 教育委員会の活動	
1. 教育委員の構成	2
2. 教育委員会の活動状況	
(1) 委員会議の開催状況	2
(2) その他の活動状況	3
II 教育委員会が管理執行する事務	3
III 各課の事務の点検及び評価の結果	4～25
1. 学校教育環境の充実（学校教育課）	
(1) 学校教育施設・環境の整備	4～8
(2) 学校教育内容の充実	8～10
(3) 教育支援センター事業の実施	10～12
2. 生涯学習の充実（生涯学習課）	13～14
3. 文化の振興（生涯学習課）	15
4. 総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）	16～18
5. アルカディア文化館（生涯学習課）	
(1) 南部図書館・富沢図書館	19
(2) 町立美術館	19～20
6. 生涯スポーツの充実（生涯学習課）	
(1) 施設の充実と効果的な活用	21～22
(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化	22～24
(3) 組織の充実と連携	24～25

第1 点検・評価制度の概要

1. 事務の点検・評価の考え方

南部町教育委員会では、学校教育、生涯学習、文化、スポーツ・レクリエーションなどの分野で様々な施策に取り組んでいますが、これらの施策を充実させる上で各施策の進捗状況や町民の皆様及び関係各位の意見を踏まえることは非常に重要なことです。また政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

このようなことから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、自らの権限に属する事務の管理及び執行について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、町民に公表する取り組みを平成 20 年度から実施しています。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務「前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。」の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 事務の点検・評価の方法

平成 30 年度に南部町教育委員会並びに教育委員会各課において執行された事務事業について、教育委員会内部で点検評価する。

3. 事務の分類と評価

教育委員会所掌の事務事業を次のとおり 3 分類する。

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理執行する事務」
- III 「教育委員会各課の執行する事務事業」

◇ 達成度の評価

「III 教育委員会各課の執行する事務事業」について、達成度を 5 段階で評価する。

- 5 極めて満足である (順調に達成している)
- 4 満足である (概ね順調に達成している)
- 3 普通 (達成見込みだが若干課題がある)
- 2 不満足である (順調でない)
- 1 極めて不満足である (達成しなかった)
- 評価しがたいもの

第2 事務事業ごとの点検・評価

I 教育委員会の活動

1. 教育委員の構成

南部町教育委員（2018年4月1日～2019年3月31日）

職 名	氏 名	任 期	備 考
教 育 長	芦澤 和彦	2018年4月1日 ～2021年3月31日	教育長就任 2018年4月1日
教 育 長 職務代理者	入月 一巳	2015年5月10日 ～2019年5月9日	教育長職務代理者就任 2018年5月10日
委 員	四條 勉	2016年5月1日 ～2020年4月30日	
〃	河内 留美	2018年4月1日 ～2021年4月30日	
〃	佐野 保仁	2018年5月10日 ～2022年5月9日	

2. 教育委員会の活動状況

(1) 委員会議の開催状況

南部町教育委員会の会議は原則として公開する。また毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催する。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む。）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けている。

平成30年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりである。

会 議	開催日	議案件数	報告件数	その他
平成30年 臨時会第1回	4月2日	1	0	1
定例会第4回	4月6日	3	4	3
〃 第5回	5月10日	3	3	12
〃 第6回	6月12日	1	5	2
〃 第7回	7月4日	2	2	4
臨時会第2回	7月24日	1	0	2
定例会第8回	8月20日	2	2	3
〃 第9回	9月6日	1	3	3
〃 第10回	10月4日	2	3	2
臨時会第3回	10月25日	0	1	0
定例会第11回	11月9日	2	1	4
〃 第12回	12月18日	1	5	4
平成31年 〃 第1回	1月16日	4	2	2
〃 第2回	2月15日	1	3	1
〃 第3回	3月12日	3	2	3
合 計		27	36	46

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に、各会議、関係行事等へ出席している。
なお、平成27年度より地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、南部町総合教育会議が設置され、平成30年度は3回の会議が開催された。その他主な活動は次のとおりである。

- ・山梨県町村教育長会 ・山梨県教育委員会連合会
- ・峡南地区教育委員会連合会総会及び研修会
- ・峡南地域教育推進連絡協議会総会及び研修会
- ・南部町教育委員先進地視察研修 ・学校訪問
- ・各小中学校入学式 ・卒業式
- ・各小学校運動会 ・中学校学園祭
- ・町民体育祭 ・成人式典 ・町内駅伝・マラソン大会
- ・その他各種イベント事業への出席

Ⅱ 教育委員会が管理執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は南部町教育委員会事務委任規則に規定されている。
平成30年度に管理執行した事務については下記のとおりである。

(1) 教育委員会規則及びその他の重要な規定の制定及び廃案すること。

○協定の締結

- ・連携型中高一貫教育の実施に関する協定

○規則の改正

- ・南部町立小・中学校管理規則の一部改正

(2) 教育予算その他の議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。

平成30年度9月補正予算、平成30年度12月補正予算、平成30年度3月補正予算、平成31年度当初予算、全て原案どおり了承される。

(3) 県費負担の教職員の人事の内申に関すること。

- ・人事異動に際し、31名の異動の内申を行なった。

(4) 教育委員会の所管する各種委員会の委員の任命及び委嘱に関すること。

- ・学校給食共同調理場運営委員会 委員17名
- ・学校評議員 委員12名
- ・学校運営協議会 委員15名
- ・社会教育委員協議会並びに公民館運営審議会 委員14名
- ・スポーツ推進審議会 委員8名

Ⅲ 各課の事務の点検及び評価の結果

1. 学校教育環境の充実（学校教育課）

（1）学校教育施設・環境の整備

① 学校施設環境整備事業

* 事業概要

- ・小中学校に学校図書の整備を行った。

* 成 果 [評価 4]

[小中学校施設の学校図書の整備]

- ・睦合小学校 864,000円（図書434冊 DVD10枚）
- ・栄小学校 710,145円（図書389冊 CD6枚 DVD1枚）
- ・富河小学校 719,004円（図書397冊 CD5枚）
- ・万沢小学校 656,233円（図書378冊 CD6枚）
- ・南部中学校 894,536円（図書469冊 CD1枚 DVD7枚）

* 課 題

学校図書の購入については、限られた予算の中で計画的に進める必要がある。

② 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（スクールガードリーダー）

* 事業概要

児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みを実施することを目的とする。

本町では、平成17年より1名のスクールガードリーダーを委嘱し、小学校4校に対して登下校の際の子どもへの指導、見守り隊への指導、通学路の安全確認等を実施している。スクールガードリーダーは、主として学校周辺に登校時間帯及び下校時間帯にそれぞれ2時間程度、4小学校を曜日変わりで巡回している。

- ・スクールガードリーダー報償費 202,000円

* 成 果 [評価 4]

事業を開始してからは特に問題等は起きておらず、事業効果は大きい。

* 課 題

今後も子どもたちの安全確保のため事業を継続していくが、4小学校の見守り地域が広範囲に及ぶため各校の見守りボランティアと連携するとともに、通学路付近の住民に「ながらパトロール」の依頼をするなど、全町的に効率的な見守りを行うことに努める。

③ 日本スポーツ振興センター災害給付金事業

* 事業概要

各小中学校に在学する児童・生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、学校の管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対して行う制度。町では全校児童生徒がこの制度に加入しており、その共済掛金は町が負担している。

- ・共済掛金合計額 427,140円（対象：小学校273人、中学校179人）
- ・実績（給付金合計）537,228円（対象：小学校37件、中学校62件）

*** 成 果 [評価 5]**

町では医療費助成制度により、18歳まで無料化されているが、この災害給付金制度では療養に伴って要する費用として加算される分（1/10）があり保護者にとっては有利である。学校でもその点を説明し、この制度の利用に努めている。

*** 課 題**

学校では子どもの安全確保に努めているが、この制度は長期休暇中にも対応できるため、不慮の災害に備え保護者に対して安心を与えられる点が有効である。

④ スクールバス運行事業

*** 事業概要**

南部中学校において、富河・万沢・井出・十島地区の生徒を対象にスクールバスを運行する。また、小学校と居住地が遠く離れている井出・十島・万沢（陵草）地区の児童及び通学路（国道）が危険な楮根地区児童も、スクールバスで送迎している。

・総事業費	21,341,608円
(内 訳)	
・運行委託料	17,424,720円
・修繕料	1,743,467円
・燃料費	2,173,421円

*** 成 果 [評価 4]**

児童生徒の通学にかかる負担を軽減する。

- 1) 南部中学校の生徒の輸送
 - ・富河地区 43名、万沢地区 16名、井出・十島地区 13名
- 2) 富河小学校の児童の輸送
 - ・楮根地区 4名
- 3) 栄小学校の児童の輸送
 - ・井出・十島地区 12名
- 4) 万沢小学校の児童の輸送
 - ・陵草地区 1名

*** 課 題**

スクールバス乗車時間の最長は徳間地区生徒で約25分間である。遠距離生徒が安全かつスムーズに登下校できるよう運行時間、運行ルート、乗降場所等の調整を図る。また、スクールバス利用による児童生徒の心身疲労の軽減、運動不足の解消に努める。

⑤ 学校給食共同調理場運営事業

*** 事業概要**

平成25年4月に2つの調理場を統合し、南部町学校給食共同調理場をスタートさせ、調理の集中化により一層の効率化を図った。安心で安全な栄養面も十分に配慮した美味しい給食を提供することにより、子どもに望ましい食習慣を身につけさせることを目的に、共同調理場を設置している。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めるほか、給食費負担金の収納確保にも取り組んでいる。

- ・小学校：325食、中学校：202食

1) 学校給食費負担金

歳入決算額 26,611,159円

小学校 月額4,300円 (年額 47,300円)

中学校 月額4,800円 (年額 52,800円)

上記の給食費に対して、町から1割相当額を上乗せ補助している。

2) 学校給食運営費(決算額)

歳出決算額

61,510,976円(内、賄材料費29,431,139円)

3) 学校給食提供日数

小学校195日、中学校191日

* 成果[評価 4]

食材料については地産地消を取り入れ、町内JAの協力のもと地元生産者との生産者部会を定期的に開催し、季節感や風習に因んだ郷土料理や旬の野菜等を献立に加え、献立内容の充実を図っている。

* 課題

毎日、約530食を調理、配送することになるので適切な人員を配置するとともに、調理場では仕込み、調理、配送に至るまでスムーズな作業ができるよう効率的な体制づくりを図る。また、より豊かな学校給食の実現と一層の効果的な給食運営を図るためのひとつの手法として、給食調理業務の民間委託についても検討する必要がある。

地産地消の推進をしているが、品質管理の点で難しい面もある。

⑥ 学校給食費助成補助事業

* 事業概要

少子化対策ならびに子育て支援に資することを目的として、義務教育対象の子どもが3人以上いる町内在住の保護者に対し、第3子以降の給食費を助成する。ただし、未納及び滞納のない世帯が対象である。

対象世帯数：24世帯 助成金額合計 1,221,200円

* 成果[評価 5]

対象者に通知し申請を促しているため100%の方がこの制度を利用しており、好評を得ている。学校給食費に関心を持つきっかけとなり、収納向上に貢献している。

* 課題

子育て支援には成果があると思われるが、少子化は進行しており、他施策との連携による効果の拡大等を図る必要がある。

⑦ 要保護及び準要保護児童生徒への就学援助事業

* 事業概要

経済的理由等により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な費用(学用品費、修学旅行費、給食費等)を、認定基準額(所得の金額)に応じて認定審査を行った上、支給する。

区 分	受給者	援助額
睦合小(準要保護)	9 人	594,575 円
栄 小(〃)	6 人	218,145 円
富河小(〃)	3 人	198,980 円
万沢小(〃)	3 人	104,310 円
南部中(〃)	14 人	1,339,320 円
星陵中(〃)	1 人	23,540 円
計	36 人	2,478,870 円

◇準要保護者：児童扶養手当受給者

(26世帯36人)

◇要保護者：生活保護で対応
(0世帯0人)

* 成 果 [評価 4]

対象者に対しては、民生主任児童委員等と連携し申請漏れのないように手続きの勧奨を行っている。ひとり親家庭に対する経済的支援の効果は大きい。

* 課 題

前年比6名減、援助額は514千円の減となった。前年に比べると減少しているが援助を必要とする児童生徒（母子、父子家庭）は変わらず多くいる。

⑧ 心の教室相談事業

* 事業概要

心の教室相談員を町内の中学校に配置し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、悩みや不安、ストレスを解消する。

* 成 果 [評価 4]

より身近なところに相談できる場があり、生徒達の悩み、不安、ストレスが和らぎ、心にゆとりを持てるようになることは、生徒が充実した学校生活を送ることに繋がっている。また、相談員は学校や関係機関との連携役を担っている。

* 課 題

相談員は、生徒が抱える諸問題について、担任、養護教諭、関係機関、教育委員会との連携が求められる。

⑨ 学校運営協議会事業

* 事業概要

南部中学校の学校運営に関し、保護者及び地域住民の学校運営への参画や連携を図ることにより学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組む。

* 成 果 [評価 4]

協議会を通して、地域的心声を学校経営に反映できるようになった。また教育支援センターに「学校支援地域本部」を設置し、町内小中学校の教育活動等に地域の力を活かす「学校支援ボランティア」の連絡調整にあたる体制を整備した。

* 課 題

南部中学校学校運営協議会の学校運営を検証し、町内の4小学校へ2020年度導入の準備を進める。

⑩ 小学校適正配置事業

* 事業概要

集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで思考力や表現力、判断力、問題解決能力を身に付け、さらに自ら課題を発見し主体的に学び合う協働的な学習が可能となる教育環境を整えるために、小規模化が進む富河小学校と過小規模校となった万沢小学校を統合する。

* 成 果 [評価 4]

統合準備委員会から、統合に必要な事項について提言を受けながら準備を進め、校名は富沢小学校に決定した。また富沢小学校として使用する富河小学校の改修工事の実施設計が完了した。

* 課 題

統合に向けた動きが加速する中、統合の目的が理解され、より良い教育環境の整備が必要である。

(2) 学校教育内容の充実

① 町費単独負担教員及び非常勤講師設置事業

* 事業概要

小学校における複式学級解消並びに、中学校におけるきめ細かな教育や教員の免許外教科の解消のため、町費単独負担教員及び非常勤講師を配置し適正な教育指導を行う。

* 成 果 [評価 5]

学級編制において県基準による教員配置数を町費単独負担教員で補い、適正な教育指導と円滑な学校運営を図ることができた。

町単教員数：小学校 2 名、中学校 1 名

非常勤講師：中学校 3 名

事業費 : 14, 517, 753 円

* 課 題

中学校教員は担当教科も関係するため、人材確保が課題となる。また、小学校において複式学級が解消された際は、少人数学級のデメリットを解消する学級運営を行う必要がある。なお過小規模校である万沢小学校は富河小学校と統合し令和 2 年度に富沢小学校を設置する。

② 小中学校特別支援教育支援員配置事業

* 事業概要

小・中学校において、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して支援員（非常勤職員）を配置し、学校生活の支援を行う。

〔特別支援教育支援員〕

特別支援学級入級相当ではないが、教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活を送るために必要な支援を行う。

*** 成 果 [評価 4]**

〔特別支援教育支援員〕

- ・学級担任と支援員との連携により、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、状況に応じた適切な支援を行うことができた。
- ・学級担任の負担を軽減することができ、学級全体への指導の充実、円滑な学級運営を図ることができた。

*** 課 題**

専門的な知識・技能を持つ支援員の人材確保が望まれる。また、今後さらに支援を必要とする児童生徒が増加すると予想され、その対応策が必要となる。

③ 中学校外国語指導助手設置事業

*** 事業概要**

語学指導を行う外国語指導助手(A L T)として民間派遣 1 名が南部中学校で指導している。

*** 成 果 [評価 4]**

生きた英語に数多く触れることで、英語学習への意欲・関心が向上し、英語を聞く・話すといった基礎的なコミュニケーション能力を高めることにつながる。
また、異文化についての意識が高まることにより、国際理解教育が推進される。

*** 課 題**

助手の派遣は委託契約のため、委託外の校外活動等への参加には別途契約が必要になる。

④ 小学校外国語指導助手設置事業

*** 事業概要**

2020年度スタートの新学習指導要領への移行措置として小学校5・6年生は年間50コマ、小学校3・4年生は年間15コマ外国語を学んでいる。外国語指導助手(A L T・民間派遣)1名が、町内4小学校で指導している。

*** 成 果 [評価 4]**

外国語活動において、小学1年から6年までが外国語指導助手(A L T)とふれあうことができ、児童の英語に対する関心が高まり、意欲をもって学習に取り組めるようになった。

*** 課 題**

新たな学習指導要領への移行期間ではあるがコマ数が大幅に増えており、2020年度の完全実施では、さらにコマ数が増えるので増員を検討する必要がある。

⑤ 学校評議員制度の実施

*** 事業概要**

地域に開かれた学校づくりをより一層推進するため、各学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民の意見を幅広く聞き、学校と地域が連携しながら特色ある教育活動を展開する学校運営を推進する。

*** 成 果 [評価 4]**

学校の教育目標や地域との連携の進め方などに関し、保護者や地域住民の意見を聞きながら、理解や協力を得て、特色ある教育活動を展開している。

*** 課 題**

令和2年度に全小学校に学校運営協議会を設置する予定であり、学校評議員制度から発展する形で移行させていくことが求められる。

⑥ 山梨青森南部町児童交流会実施事業

*** 事業概要**

南部氏の縁に結ばれた、両県南部町児童が、互いの町の歴史や文化、身近な環境などふるさとの特色や学校等を紹介しあい、新しい時代の主役となる子どもたちの交流を深めるため毎年夏休み期間を活用し実施している。

*** 成 果 [評価 4]**

平成30年度は青森県南部町へ児童30名、引率者9名で訪問した。両町合わせて12校60名の児童が3日間の日程で交流会を実施した。1日目の歓迎式典、仲間づくりでは表情に硬さも見られたが、2日目の種差海岸のいかだ作り体験活動を通じて、両県南部町の児童は自然と会話もはずむようになり、お互いの地域の歴史や文化を共有し、さらに心を通じ合うことにより、たくさんの仲間を作ることができた。

日 時 平成30年7月25日～27日（3日間）

交流会：仲間づくりゲーム、種差少年自然の家（いかだ作り）体験活動

参加者数 青森南部町：8小学校30名・引率14名

山梨南部町：4小学校30名・引率9名

参加費用 1人 5,000円

事業費計 1,653,959円

*** 課 題**

平成30年度は青森へ訪問した。令和元年度に青森南部町を迎える際は、児童一人ひとりが目的意識を持って参加する取り組みが求められる。

（3）教育支援センター事業の実施

① 適応指導教室事業

*** 事業概要**

登校に不安を抱える児童生徒に対し、教員OB等のスタッフが学習の支援などを行い、自立に向けて活動する「チャレンジ教室」を南部町総合会館1階に開所している（平成26年度開設）。チャレンジ教室の開所時間は、月曜日から金曜日までの午前8時30分～午後0時30分までである。

*** 成 果 [評価 4]**

参加者は2人（うち1人は相談のみ）、通室日数77日。通級生徒は数学を中心に英語や漢字学習に取り組み、進路を決定することができた。スタッフは教員OBが務め、学校と密接に連携しながら状況に応じた学習支援を行うことができた。

*** 課 題**

不登校児童生徒の早期対応に努めるとともに、不登校の背景は集団への不適應、学力不振、友達や教師との人間関係等様々な原因によるものなので、学校、スクールソーシャルワーカー、家庭、教委等関係者が情報を共有し、個々の状況に合った最善の対応を検討する必要がある。また、チャレンジ教室から学校への復帰に努める。

② 教職員の指導力向上研修事業

*** 事業概要**

夏季休業中の8月10日に町内小中学校教員を対象に研修会を実施した。前半はICT研修、後半は小学校教職員については2020年から実施される小学校高学年英語の教科化、中学年への外国語活動に向けた研修会、中学校教職員については道徳の研修を同日に実施した。

*** 成 果 [評価 4]**

ICT研修ではタブレットPCを有効なツールとして活用するための手法を学び、英語研修・道徳研修では講師を招いてそれぞれの課題に対する取組について受講した。

*** 課 題**

研修で学んだことを実際の授業でどう生かしていくかが課題となる。

③ 学力向上対策事業

*** 事業概要**

学習意欲の高揚と学力向上を図るため、小学4年生～中学3年生を対象に自学自習の場「なんぶ未来塾」を開所した。講師は教員OBが務め、毎月2回、土曜日に開催した。

*** 成 果 [評価 4]**

参加者は小学生31名、中学生20名、開校日数は小学生44日（延べ458人）、中学生44日（延べ268人）。

*** 課 題**

開校時間、登校手段に配慮する必要がある。また学校と連携し効果的な運営を図る。

④ 特色ある南部町教育事業

*** 事業概要**

特色ある南部町教育として、かつて蒙軒学舎で行われた英語教育に本町の特色を見出し、生きた英語教育を目的に外国人講師とともに過ごす「イングリッシュキャンプ」を開催した。

*** 成 果 [評価 4]**

平成30年8月2日～3日に静岡県立朝霧野外活動センターで開催し、小学5年～6年生の30人が参加した。講師はALT4人、日本人講師5人が務めた。ゲームやカレー作りを通じて、英語に親しむことができた。

*** 課 題**

英語の楽しさを感じるだけでなく、確かな表現をねらいとして一人ひとりが表現できる場面設定が必要である。

⑤ 平成30年度「N授業」

*** 事業概要**

多くの児童がともに学習し、多様な考えに触れるなど学びを共有し、広める機会として3年生から6年生を対象に年1回ずつN授業（町内小学校4校の合同授業）を実施している。

*** 成 果 [評価 4]**

4校の児童が一つの授業に参加し、多様な考えに触れることができ、学びを深めることができた。互いに意見を述べたり、聞きあったりすることで交流も深まり学習意欲も向上し楽しみながら学ぶことができた。

*** 課 題**

教材研究、資料づくりなど教師の負担感は否めない。また、事前研究会など4校の日程調整が難しい。

⑥ ICT教育支援事業

*** 事業概要**

平成29年7月にタブレットPCを小中5校に導入した。「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善をねらいとして、PC・インターネットを学習活動に利用するため、教育支援センターにICT支援員を配置し、5校を巡回して教員の操作技術補助、教材作成、授業支援等を行った。

*** 成 果 [評価 4]**

ICT教育による授業改善が進んだ。

*** 課 題**

効果的な指導のための研修を求める声が多い。また機器のさらなる充実を検討する必要がある。

⑦ 小学校英語教科支援事業

*** 事業概要**

2020年度に小学校5,6年生は英語が「教科」となり、3,4年生は「外国語活動」となるため、小学校の英語科授業における支援、指導等について専門の指導員を配置し巡回指導を行った。

*** 成 果 [評価 4]**

英語授業に対する悩みや不安の解消、指導力の向上につながった。

*** 課 題**

現在、県費による英語専科が配置されているが、完全実施となる次年度以降も配置されるか、はっきりしておらず、ALTの配置計画と合わせて支援体制の検討が必要となる。

2. 生涯学習の充実（生涯学習課）

① 生涯学習の推進

* 事業概要

各種講座・教室・事業を通じて、町民が学習する機会を提供する。
アルカディアフェスタ、成人式等を開催した。

* 成 果 [評価 3]

【アルカディアフェスタ2018】

平成30年9月16日にアルカディア南部総合公園において、前年度より実施しているアルカディアフェスタをあらゆるライフステージの町民が一同に集い、生涯にわたる学習意欲の促進と健康増進を図るイベントとして開催した。

当日は各種表彰、パフォーマンス、講演会、人形劇、スポーツ鬼ごっこなどのイベントに加え施設の無料開放を実施した。

参加者数 400名

【成人式】

平成31年1月5日に文化ホールにおいて、成人者（男性36名、女性25名）を祝福する式典を開催した。

* 課 題

企画当初の一番の課題である「イベント統合による事業のスリム化」については、2年目で安定したことも含め、以前よりもトータルの事務量が減っていることから一定の成果が出ていると感じている。

ただし、文化とスポーツの融合というテーマについては体育館と文化館、屋外スペースという開催環境からどこまで“文化”というテーマにできるかについて、音楽などのパフォーマンスについては取り込むことができているものの、まだまだ融合できていない部分があるものと認識している。

今後、心の豊かさにつながる文化・スポーツに興味関心が示せるイベントにするよう検討していく。

② 青少年教育の推進

* 事業概要

青少年の人間形成において家庭の果たす役割は大きく、特に核家族化が進みつつある現在、個としての家庭では、その役割の発揮に限界があり、地域の皆で支えあって青少年の教育や社会問題の解決に取り組まなければならない。町としても、少年期から青年期にかけ、社会参加活動への機会を提供するための青少年教育を推進する。

* 成 果 [評価 3]

子どもクラブ連合育成会では、アルカディアフェスタにおいてスポーツ鬼ごっこ大会を開催し体力の向上を図った。1月31日（木）～2月3日（日）には新春書道展を開催した。

町民会議では、町をはじめ関係機関や団体と緊密に連携して、夏季生活指導会議や冬季生活指導会議を開催し、育成活動に取り組んでいる。

*** 課 題**

中学生世代までは各地域において繋がりがあるものの、高校生世代では進学先の多様化や部活動等で多忙となり、保護者同士の繋がりが希薄となっている。そのため活動の継続が困難な状況である。今後は必要に応じ意見を伺っていきたい。

③ 高齢者教育の推進

*** 事業概要**

高齢化社会においては、高齢者が経済社会の変化に対応していくために絶えず新たな知識や技術を習得する機会が必要とされる。また、学習を通じての豊かさや生きがいの充足が求められることから、積極的な社会参加を果たすことができるような学習と活動の機会と場を提供し、高齢者教育の振興を図る。

【なんぶいきいき大学】

学習会	月 日	内 容	場 所
第 1 回	5 月 24 日(木)	『開校式、町長講話と郷土資料の楽しみ方』 『町長講話』南部町長 佐野和広 『郷土資料の楽しみ方』渡辺拓雄	活性化センター
第 2 回	6 月 21 日(木)	『プロ芸人の弟子修行から学ぶ男女共同参画』 嘶家 林家笑丸	ぴゅあ峡南
第 3 回	7 月 12 日(木)	『交 通 安 全 教 室 』 山梨県警 さちかぜ号	文化ホール
第 4 回	8 月 9 日(木)	『ぴゅあ峡南 講演会』 健康科学大学教授 金信敬	ぴゅあ峡南
第 5 回	9 月 16 日(日)	『アルカディアフェスタ2018』	アルカディア
第 6 回	10 月 11 日(木)	『 町 外 研 修 』 ～ 蓬萊橋と大井川鐵道 ～	静岡県西部
第 7 回	11 月 15 日(木)	『認知症予防講座』 福祉保健課職員	文化ホール
第 8 回	12 月 6 日(木)	『混声合唱団から考える男女共同参画』	ぴゅあ峡南
第 9 回	1 月 17 日(木)	『アルカディア探 訪 』 アルカディア文化館 図書館司書	アルカディア 文化館
第 10 回	2 月 14 日(木)	『閉校式と春待ちコンサート』 リード・アンサンブル ♪ ミュール ♪	文化ホール

*** 成 果 [評価 3]**

なんぶいきいき大学では健康づくりや生活に密着したテーマなどを毎回設定し、健康長寿の道を歩んでいただけるよう、歌を歌ったり身体を動かしたり楽しく参加できる講義を開講した。

*** 課 題**

高齢者の社会参加が少なくなっている今日、高齢者世代の趣味も日々変わってきている。ニーズの多様化などもあるが、多くの参加者に興味を持ってもらえるテーマ設定や足を運んでもらうための工夫を行い、新規参加者の増加を目標にしていかなければならない。

3. 文化の振興（生涯学習課）

① 文化財保護事業

* 事業概要

文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを理解するうえで、欠くことのできない資産である。現在、国指定1件、県指定18件、町指定49件の指定を受けており、文化財審議会委員を中心に書跡や史跡また天然記念物の保護、並びに無形文化財の継承に努める。また、近年県内の埋蔵文化財包蔵地において届出をせず開発行為を行う事例が発生している。このような事例が発生しないよう情報の発信、試掘等の実施を行う。

南部氏展示室・近藤喜則史料展示室を活用し、歴史上の事実や功績を紹介する。

* 成果【評価 4】

台風被害により天然記念物2件に被害が発生した。県・町の補助を活用し撤去、保全を行った。表示板等については標識柱、説明板ともに3件ずつの修繕を実施し継続的に景観美化に努めている。埋蔵文化財に関しては4件の届出を受け、県の指導を受け3件の試掘調査を行った。ホームページ上に埋蔵文化財包蔵地における開発行為について掲載し注意喚起を行った。

7月にオープンした道の駅なんぶ内に南部氏展示室（南部氏館）、及び9月には南部三郎光行公の騎馬像を設置した。また、3月にはアルカディア文化館内に近藤喜則史料展示室を開設した。

* 課題

文化財専門の知識を有する職員がおらず、専門的業務の判断等については難しい部分がある。県の専門機関並びに所有者等との協力体制を強化し、文化財の保護と活用に努める。

南部氏・近藤喜則の両史料館を広く周知するとともに、生涯学習の場として活用していく必要がある。

② 文化協会等育成事業

* 事業概要

平成30年度より各地区ごとの文化協会が解散し、新南部町文化協会として活動を開始した。1年目の本年は今までの事業を滞りなく継続し、町民の文化活動への支援、芸術文化へ触れる機会の提供、文化祭の開催を通し文化振興への貢献を図っていく。

* 成果【評価 3】

統合して1年目の文化協会のため、様々な課題が出てくることが予想されたが、設立総会に至るまでに多くの課題について協議検討された結果、一定の理解が得られているものと認識している。

* 課題

協会員の高齢化などによりグループの存続が危ぶまれる団体も見受けられる。文化活動への周知啓発や後進育成など文化振興の活性化を図るとともに支援協力を行っていく。

4.総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）

① 各種教室、講座等の主催事業

* 事業概要

中央公民館では、町民を対象とした公民館講座や各種教室を開催している。

【連続講座】

教 室 名	時期・実施回数	受講者数
陶 芸 教 室	月 1 回 (9 回)	11 人
パ ン 作 り 教 室	月 1 回 (6 回)	15 人
ペーパークラフトかご作り教室	2 月実施 (3 回)	11 人
ハンドメイド雑貨づくり教室	月 2 回 (10 回)	8 人
写 仏 教 室	2 月実施 (4 回)	9 人

【単発講座】

教 室 名	実施日	受講者数
お 茶 教 室	9 月 20 日	9 人
	12 月 13 日	12 人
ペーパークラフトで作る オリジナルかご作り教室	10 月 27 日	16 人
お や こ 料 理 教 室	8 月 4 日	44 人
	10 月 20 日	
歴 史 探 訪 講 座	12 月 7 日	32 人
おやこお菓子作り教室	3 月 16 日	25 人

* 成 果 [評 価 3]

生涯学習のひとつである生きがいつくりの入口としての役割が確立してきている。本年度はクラフトテープを使ったかご作り教室を実験的に開催したところ好評だったことから後期の公民館講座として開催した。

受講者自身、この講座がきっかけで趣味として続けていると共に講座以外の事にも興味の範囲が広がりより活動的になる傾向がみられる。

* 課 題

受講者が以前から受講しているリピーターが多く、新規受講者の開拓が課題である。新講座において受講者には好評だった実績を踏まえ、新講座の開催にあたっては講座内容をわかりやすく町民に広報することに努めるとともに、日時等など参加しやすい方法を検討する。

趣味の多様化からか多くの人数を集めて講座を開催するような形式に関しては難しい傾向が見られる。町民から講師を募集しサークル的な活動をサポートする方式など新しい手法を模索する必要があると感じている。

② 南部町文化ホール事業

* 事業概要

芸術文化に関する住民の意識の啓発、教養の向上を目的とし、映画会、寄席、合唱発表会、コンサートなどの自主事業を実施した。

また、地域社会の振興に寄与するため、南部町民文化祭芸能発表会、内船歌舞伎の定期公演等へ協力し、その他ホールの貸館等を行っている。

【自主事業】

事業名	開催日	入場数	販売収入額
なんぶシネマ1 「ドラえもん」 「あさひなぐ」	8月11日	109人	25,800円
なんぶシネマ2 「ボスベイビー」 「空海 美しき王妃の謎」	10月13日	141人	37,600円
なんぶシネマ3 「ドラゴンボール超ブロリー」 「妻よ薔薇のように 家族はつらいⅢ」	3月9日	204人	53,500円
なんぶ演芸 出 演：林家木久扇 林家木久蔵 来世落	7月15日	174人	351,000円
望月友美なんぶコンサート 出 演：望月友美 山口陽子	12月16日	231人	424,000円
計		859人	891,900円

※前年度自主事業販売収入額 1,007,500円

【有料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
佐野友里ピアノ教室発表会	5月19日	60人	22,530円
JA ふじかわ役職員会	1月18日	50人	13,370円
佐野貴子ピアノ教室発表会	3月10日	60人	22,530円
計		170人	58,430円

【無料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
富士川ファンクラブ定期総会	4月21日	100人	無料
いきいき大学	11月15日ほか	150人	無料
南部町PTA連合会	10月23日	100人	無料
内船歌舞伎定期公演	12月2日	400人	無料
南部町在宅ケア勉強会公開講座	2月23日	200人	無料
南部町歌謡フェスタ	3月3日	400人	無料
各種会議 ほか 71回使用	4月6日ほか	2,195人	無料
計	全 78回	3,545人	—

* 成果 【評価 3】

5回の自主事業を実施。

* 課 題

自主事業の見直しを図っている中で、平成 30 年度は映画会の上映開始時間を今までよりも前倒しにする変更を行ったが、思うように集客は伸びなかった。

今後の自主運営の演目選定については文化ホール運営委員の意見を取り入れつつ、集客の見込めるコンテンツと日程の協議検討を行っていききたい。

貸館については、発表会・会議・練習などでの利用がある。施設に対し駐車場が不足している実情はあるが、駐車場一覧などを配布し対策している。施設の稼働率と管理のバランスを取りながら、より良い利用形態を模索し地域の文化振興に貢献していききたい。

5. アルカディア文化館（生涯学習課）

① 南部図書館・富沢図書館

* 事業概要

地域の情報拠点、学習の拠点となる図書館は、町民の学習要求の多様化、高度化に伴い、一般書はもとより専門書、学術書、地域資料、さらには公共図書館と学校図書館を結ぶネットワークの活用を図り、学習にあった多種多様な資料の収集及び提供を目的とする。

【南部図書館】

- 開館日数： 294日
- 来館者数： 17,158人
- 貸し出し冊数： 44,070冊
- 主催教室事業

事業名	開催数	参加者数
乳幼児・幼児・リトミック教室・3B体操	41回	958人
お話し会・読書指導（小学生以下対象）	9回	252人
講座・教室	7回	414人
映画会	14回	161人
アルカディアフェスタ2018図書館部門	9月16日	228人

【富沢図書館】

- 開館日数： 293日
- 来館者数： 4,146人
- 貸し出し冊数： 13,754冊

* 成果 [評価 4]

乳幼児親子並びに小学生を対象にしたお話し会や、各施設への出張お話し会、講師を招いた講演会・教室、映画会を図書館ボランティアの協力を得ながら開催している。事業への参加が来館への動因となり、読書に対する意識効果は上がっている。

アルカディアフェスタ2018図書館部門では、常設展の無料開放や人形劇団の公演により、図書館・美術館の魅力を親子で楽しんでもらい盛会であった。

* 課題

利用者のニーズにあった本を提供するため、リクエスト等の情報の収集に努めるとともに、住民の読書支持率向上のための方策を検討していく。各種事業を開催することにより来館者数、貸出し冊数の増加を期待しているが、事業のみの参加となるケースが多い。

② 町立美術館

* 事業概要

町民が歴史と文化に興味を持ち、芸術向上の場として親しみやすい美術館運営を考慮し、郷土が誇る芸術家「近藤浩一路」の功績を称え、その作品を美術館に展示する。

水墨画美術館として幅広く認知され、町内芸術家の情報発信、交流の場となるような事業を展開する。

○開館日数：298日

○企画展

・国際墨彩画展	6月8日～ 6月24日	512人
・望月翠山甲骨文書展	8月1日～ 8月30日	377人
・宮西達也わーいなんだアーランド展	11月18日～12月16日	1,040人
・水墨画家望月勅雄の世界	1月12日～ 2月11日	371人
・早蕨展	3月9日～ 3月31日	247人

○常設展

・近藤浩一路作品	(通年開催、年4回展示替え)	601人
----------	----------------	------

*** 成 果 [評価 4]**

企画展には多数の来館者が訪れ、町内外へ美術館をPRすることができた。その中でも、絵本作家の宮西竜也わーいなんだアーランド展では、ギャラリートークや視聴覚室での壁ライブペイントを行い、子供から大人まで1,000人強の来館者が訪れ、多くの賛辞をいただいた。

*** 課 題**

企画展の開催については、経費（印刷製本費、動産保険料、運搬委託料等）がかかってしまうため、慎重に開催を検討する。また、情報発信は積極的に行い鋭意努力することが必要である。

6. 生涯スポーツの充実（生涯学習課）

(1) 施設の充実と効果的な活用

① アルカディアスポーツセンター

○営業日数：305日

○入館者数：46,202人

		利用者数	収入金額
内訳	プール・ジム	20,748人	(4,936,880円)
	レッスン	19,863人	(7,909,500円)
	体育館	5,591人	(431,170円)
			<u>13,277,550円</u>

○その他の施設：40,764人

		利用者数	収入金額
内訳	テニスコート	3,751人	(284,080円)
	野球場	4,735人	(587,620円)
	運動場	5,357人	(72,250円)
	富沢野球場	2,279人	(176,190円)
	小中学校施設	24,112人	(559,580円)
	柔剣道場	530人	(36,440円)
			<u>1,716,160円</u>

○主要教室事業	申込者数	事業収入
☆親子体操教室	33組	99,000円
☆シニアトレーニング	180人	540,000円
☆子供体操教室（年少・年中・年長・小1）	107人	321,000円
☆エアロビクス	53人	238,500円
☆大人初級・上級水泳教室	24人	72,000円
☆ズンバ	76人	342,000円
☆全身シェイプ&体幹強化（初級・上級）	198人	990,000円
☆やさしいエアロ	50人	225,000円
☆からだ整え体操	68人	272,000円
☆水中ウォーキング	45人	202,500円
☆フラダンス	30人	135,000円
☆はじめてアロマヨガ	78人	351,000円
☆リラックスアロマヨガ	47人	211,500円
☆チームダイエットなんぶ	17人	85,000円
☆チームダイエットなんぶプラス	12人	48,000円
☆小学生水泳教室	270人	2,700,000円
☆年中児水泳教室	77人	385,000円
☆ママの筋トレ教室	6人	18,000円
☆ボディーメイクトレーニング教室	39人	195,000円
☆全身シェイプ&体幹強化	51人	255,000円
☆体操教室（生涯スポーツ係）	32人	128,000円
☆トランポリン教室（生涯スポーツ係）	24人	96,000円

合計 1, 5 1 7 人 7, 9 0 9, 5 0 0 円

*** 成 果 [評価 4]**

教室事業については、3ヶ月ごとに教室の見直しを行っており、常に利用者ファーストの視点で教室事業を実施してきたが、申込者数、事業収入、共に前年を下回った。主要要因としては、小学生水泳教室等の子供の参加者の減少が上げられる。

*** 課 題**

人口減少の関係で、特に子供を対象とした事業への参加者が軒並み前年を下回っていた。今後の課題としては、これまで以上に創意工夫すると共に、利用者のニーズやフィットネス業界の流れをしっかりと把握し、利用者が飽きない事業の提供を行う。

②その他施設

*** 事業概要**

社会体育施設・学校体育施設の開放は、各体協支部、体協専門部、クラブチームの多数に利用されている。

*** 成 果 [評価 4]**

体育館・グラウンドとも年間を通して体協専門部、スポーツ少年団、クラブチームが利用しているほか、町外、県外の団体利用が増加している。今後も、施設のPRはもちろん、旅行会社等にも積極的に働きかけ、より多くの利用者を確保していきたい。

*** 課 題**

アルカディア南部総合公園(スポーツセンター、テニスコート、野球場、運動場、周辺公園)及び社会体育施設は、管理面積が広く、職員数が減少していることから、業者などを効率よく活用し、レベルの高い施設を目指していきたい。また、老朽化による修繕なども順次実施し、安心安全な施設の管理を行なう。

(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化

① スポーツ推進委員事業

*** 事業概要**

目 的：町民にスポーツの楽しさ、すばらしさを伝えるとともに、スポーツやレクリエーションの普及振興を図るための指導・助言を行う。

事業費：850千円（スポーツ推進委員会補助金）

事 業：1) 軽スポーツ普及事業

トランポリン・体操教室（11回）、スポーツ鬼ごっこ教室（2回）

2) 各種スポーツ大会への協力

アルカディアフェスタ2018、町民体育祭、駅伝マラソン大会

3) 各種研修

定例会（4回）、峡南研修（3回）、県研修（2回）

*** 成 果 [評価 3]**

スポーツ推進委員24名は町民に対し積極的にスポーツの普及振興に努めた。中でもトランポリン・体操教室・スポーツ鬼ごっこについては、指導有資格者を中心に指導ができた。また、体協事業の駅伝マラソン大会等ではスムーズな大会運営の協力ができた。

*** 課 題**

町の事業以外にも、各小中学校や地区活動へ積極的に出向き、スポーツ活動の推進を図る。

② スポーツグループ育成事業

*** 事業概要**

目 的：町民のスポーツ実施率の向上とスポーツの日常化を目指し、軽スポーツグループの育成を図る。

事 業：「南部リズム会」は平成18年度から自主団体として活動し、毎月1回リズム体操教室を開催している。会員は年度末現在86名。

*** 成 果 [評価 5]**

南部リズム会は設立から12年が経ち町民の中に定着している。50代から70代までの女性層が中心で生活習慣病予防、体力づくりのほか会員の憩いの場として役割を果たしている。

*** 課 題**

リズム体操をするだけでなく、多種多様の活動も活発となっている。なお一層の啓発や事業の推進を図り、スポーツを積極的にしない町民の取り込みを図る。また、会員自身が更に主体的に活動し、運営していく体制を整えていく。

③ スポーツ教室・イベントの開催

*** 事業概要**

目 的：スポーツを振興し、町民の体力増進・健康を保持するとともに、人と人とのふれあいを育むコミュニティの場として、誰でも楽しめる軽スポーツを中心に教室を開催する。

事業費：教室謝金420千円、フェスタ400千円、サンクスデー52千円

事 業：1) 各種教室の開催

教 室 名	開催日	開催回数	参加者数 (会員数)
黒部ダムウォーキング教室	7月20日	1回	41人
ス ポ ー ツ 鬼 ご っ こ 教 室	9月10・12日	2回	150人
サ ッ カ ー 教 室	11月12・ 19・26日 2月16日	4回	60人
トランポリン・体操教室	4月～2月	各11回	56人
スキー教室 しらかば2 in 1	2月17日	1回	26人
リ ズ ム 会	4月～3月	12回	86人
計			419人

2) スポーツイベント

イ ベ ント 名	開催日	参加人数
チャレンジデー2018	5 月 30 日	5,288 人
ヴァンフォーレ甲府 サンクスデー	9 月 1 日	130 人
アルカディアフェスタ 2018	9 月 16 日	400 人

* 成 果 [評価 3]

日頃からスポーツの体験ができない方に対してのきっかけづくりとして大きな効果があり、各教室とも多くの初心者参加があった。また、フェスタでは、育成会対抗のスポーツ鬼ごっこ大会が盛大に開催された。

* 課 題

種目を固定化するのではなく、町民のニーズにあったスポーツやニュースポーツイベント教室を開催する。その中で、スキー教室に関しては参加者が減少傾向にあり、内容・金額・開催時期などの見直しが必要と考える。広くスポーツの楽しさやすばらしさを啓発するため、フェスタ・サンクスデーは継続して開催する。

(3) 組織の充実と連携

①体育協会

* 事業概要

目 的:生涯スポーツを推進するには体育協会と町行政とが緊密な連携を図る必要がある。

事 業:体育協会は25支部、16専門部、7スポーツ少年団から組織され、教育委員会生涯学習課生涯スポーツ係が、庶務会計を担当しスポーツ振興を図っている。競技スポーツとしての一面と生涯スポーツの一面を有し、県体育祭への出場、町民体育祭・駅伝大会の開催、各種スポーツ教室の開催を年間事業としている。特に初心者を対象にしたスポーツ教室では各種目の普及を目指している。行政とも緊密な連携と協力体制が図られている。

事業費: 4,600千円 (体育協会補助金)

事 業 名	開催日	参加人数
第16回南部町民体育祭	10月7日	1,100人
第16回南部町駅伝マラソン大会 61チーム・29人が完走	2月3日	450人

* 成 果 [評価 3]

町と体育協会の連携が図られスポーツ事業が実施されている。特に町民体育祭・駅伝大会は町の一大行事として位置づけられている。

第6回目となったマラソン大会は、知事選の影響で例年より1週間遅い開催になり、前年と比べれば若干出場者が減少したが、今後大きく飛躍する可能性を秘めている。

*** 課 題**

部員の減少等により活動が減少している専門部においては、新規部員の取り込みのために体験教室を開催していく。

また、体協支部で軽スポーツ教室を開催する場合は専門指導者ができる限り協力し指導・普及を図る。

教室開催にあっては、町民のニーズにあった種目を開催する。

各事業とも安全面には万全を期す。